

|   |  |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">仙台市環境影響評価審査会 議事録（要旨）</p> |  |
| ■ 日 時   | 平成 22 年 12 月 20 日（月） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 10 分   |
| ■ 場 所   | 小田急仙台ビル 4 階 会議室 2  |
| ■ 出席委員  | 江成委員 境田委員 永幡委員 西田委員 平吹委員 溝田委員 安井委員<br>横山委員   |
| ■ 欠席委員  | 持田委員 風間委員 武山委員 鶴見委員 宮原委員 山本委員  |
| ■ 事務局   | 小林環境局次長兼環境部長 高橋環境都市推進課長 川辺参事兼環境企画課長<br>石井環境対策課長<br>(環境都市推進課環境調整係)  |
| ■ 事業者   | (仮称) 仙台市富沢駅西土地地区画整理事業 事業者  |
| 事務局   | <p>【次第 1 開会】</p> <p>・ 審査会成立報告</p>  |
| 事務局   | <p>【次第 2 資料確認】</p> <p>・ 資料確認</p>   |
| 江成会長  | <p>【次第 3 審議】</p> <p>《公開・非公開の確認》</p> <p>原則公開。ただし、個人のプライバシー及び希少な動植物の生息場所に関する事項があれば非公開とする。</p> <p style="text-align: right;">→（各委員了承）</p>   |
| 江成会長  | <p>《署名委員の確認》</p> <p>議事録署名委員 平吹委員に依頼</p> <p style="text-align: right;">→（平吹委員了承）</p>  |
| 事務局（環境調整係長）   | <p>それでは審議に入る。</p> <p>「(仮称) 仙台市富沢駅西土地地区画整理事業方法書」に関する第 4 回目の審議となる。本日は前回指摘した事項などについて対応方針をお示しいただき、さらにご議論いただきたい。</p> <p>そして、次回方法書に対する答申案を審議したい。</p> <p>それでは「(仮称) 仙台市富沢駅西土地地区画整理事業方法書」の資料について、説明をお願いします。</p> <p>資料 1－1 から 3 までの内容について、事業者から説明する。</p> |
| 事業者   | (資料 1－1, －2, －3 について説明)  |
| 江成会長  | <p>それでは、ただいまのご説明に対して委員の皆さんからご質問、ご意見ををお願いします。</p>   |

|      |   |
|------|---|
| 平吹委員 | 資料１－１の１４ページ、水田の環境保全機能に関して、雨水を溜めたり、ゆっくり流したりといったいろいろな環境保全機能をいかに評価し、保全対策を立案するのか、道筋が分かるように説明して欲しい。  |
| 事業者  | <p>先生がおっしゃるとおり、基本的には水田というのはダムのようなとも言われており、基本的には地下水のかん養、浸透というのは少し薄いかなと思うが、それでも地下水のかん養はあるだろうと思う。</p> <p>ただし、それを具体的に予測評価するということはかなり難しいと感じているので、その辺については植物の中の環境配慮という意味合いで進めたいと思っている。要するにそれだけを取り上げての予測評価はできないので、そのような書き方をしている。</p>   |
| 平吹委員 | <p>この質問をなさった方の趣旨がどこにあるのかはわからないが、私なりに考えると、この地域には過去に洪水の履歴があることから、そういう災害を緩和する意味でも水田は役立つのではないかなと思う。あるいは水を溜めることによって、そこから蒸発散を促しながら、流域全体の水量をコントロールする、今おっしゃられたダムのような機能も大きいかもしれない。</p> <p>したがってここでは、地下水のかん養機能だけではなく、いろいろな環境保全機能が実は水田には備わっているという視点が、「水田の保水機能」という言葉の中に込められているのではないかと考える。それを回答のように「地下水のかん養機能」という一言で置きかえてしまってよいのか、というのが最初の疑問である。</p> <p>これから用水路や調整池の配置・形状などを具体的に設計するときに、現在の水田・水路がどのような機能を果たしているのか、十分考慮いただきながら詳細設計を進めていただきたい。また、その検討プロセスをお示しいただきたい。</p> |
| 事業者  | それについては、今後調整池等の詳細な設計等で、今のような配慮はしていきたいと考えている。  |
| 平吹委員 | <p>１５ページ６）３に、「地形区分によれば、事業地には旧河道地域がある。」と明記されている。また、以前の審査会だったかと思うが、「この地域は低地帯でかつて川が流れていたり、旧河道とか、自然堤防や後背地が混在している場所である。」という発言もあったと思う。そういう場所だという認識の下でも、ボーリング地点については特に地形を考慮せずに２５０メートル四方に１個ずつ置くのだ、という方針か。</p>   |

|             |  |
|-------------|--|
| 事業者         | <p>現在は平成23年12月の基本設計を目指している最中である。</p> <p>ボーリング調査については仙台市の開発基準を準用して15本考えているが、ご指摘のとおり、今後設計を進める中で、より調査を進めなければいけない箇所があった場合は、そういった箇所についてボーリングを追加することは考えている。しかし基本設計を目的としている現状では、こういった枠で考えている。</p> <p>また、現在は250メートルに1カ所という箇所で考えているが、こちらについても道路等の設計の配置に合わせて調整をしていきたいと思っている。</p>   |
| 平吹委員        | <p>この指摘をなさった方の意図を私なりに解釈すると、「一見均質に見える平野でもこうした地形や履歴の違いがあるので、それをまずきちんと読み取った上でいろいろな調査や設計をなさった方がより効果的だ。」と、繰り返しておっしゃっているのではないかと読み取った。最初に設計ありき、ということでは本末転倒ではないか。</p>  |
| 事業者<br>境田委員 | <p>ご指摘のとおり、考慮しながら選定していきたいと思う。</p> <p>大気質の問題について、資料1-1 7ページに前回よくわからなかったもので、その後文書による質問をしたものが載っている。1番は、なかなか難しい作業だと思うが、大気汚染濃度の測定予測というのは、これでよい。</p> <p>しかし、2のところで図6-1の⑩という場所を設定して予測をするとなっている。1番の方できちんとやれば、それで面的にわかって済む話であるが、2で改めて予測地点を設定し、また予測地点は今後の文献調査によって見直しを検討すると書いてあり、意味が分からなくなっている。どういう意図なのか。</p> <p>さらに言うと、1番のところで道路が決まっていて、道路から直角方向に減衰カーブによって道路からの影響を求める。それから点的な煙源である重機の稼働から、風向などで濃度分布が予測され、二つの分布図を合成させて濃度を測定するというのは非常にきちんとした方法だと思う。そういう作業とこの6-1の⑩を取り出して予測するというのが、どういう関係にあるのかわからない。</p> |
| 事業者         | <p>⑩については、ここの道路の一応の代表地点ということで示しており、ここの道路の断面という意味合いでそこで調査、予測をしたいということで選んでいる。</p> <p>重合の計算に関しては、道路の影響も含めての重合であれば事業計画地近郊が一番高くなるのかもしれないので、やり方としては少し煩雑にはなるかとは思いますが、メッシュでやるという考え方もあるかとは思っている。</p>  |

|      |  |
|------|--|
| 境田委員 | 1の方で、二つの地点でのそれを重ね合わせるという作業を非常に厳密にやればそれでよい。しかし、それはうがった見方をすると、かなり一般的な像を描き出すにすぎず、最大濃度のタイミングを外す可能性があるのでは、ということなのか思ったのだが。⑩の地点はもっと細かいタイムスケールで予測するとか、そういうすみ分けがあるのかと思ったのだが、そうではないのか。 |
| 事業者  | そこまでは考えていない。   |
| 境田委員 | そうすると、今言った二つの方法がどういう点ですみ分けているのかというのかわからない。   |
| 事業者  | 予測自体は長期濃度で出そうと思っていたので、その合わせ取りができるかと思った。  |
| 境田委員 | 予測地点については、⑩の地点から見直しも検討しますと書いてあるのは何か。   |
| 事業者  | まだ工事用車両が決まっているわけではないので、今の段階ではここが想定されるのではないかとということで一応選んでいるが、今後、設計等が固まっていく中で、もしかしたら違う経路になる可能性もあり、見直しについてはその段階では考えたいということを示している。  |
| 境田委員 | 文献調査とあるので意味がわからなかった。   |
| 事業者  | 事業計画に基づいてとすべきところだった。   |
| 安井委員 | 資料1-1の25ページ、土砂の搬入等の3番の3行目で、富沢駅西地区に供給する土砂については、取引先での土壌汚染調査を行うとなっている。取引先というのは何を指すのか。土砂取り場のことか。   |
| 事業者  | おっしゃるとおり、土取り場のことを言っている。  |
| 安井委員 | そちらでの汚染調査でよいものなのか。教えて欲しい。  |
| 事業者  | 持ってくる土が汚染されていた場合には、当然場内に影響があるので、その持ってくる元でしっかり土壌汚染の履歴がなく、土壌汚染されていないという調査証明をもって受け入れると記述している。   |
| 安井委員 | それは法律や基準に適合しているものなのか。  |
| 事業者  | 法律や基準に適合したものを入れるという考えである。  |
| 安井委員 | 了解した。  |
| 江成会長 | 資料1-1、28ページに、影響を受ける施設等が並んでおり、次のページに場所が示されている。大気環境、水環境、土壌環境ということで、それぞれ影響の範囲や、あるいは及ぶルートなどそれぞれ特徴があると思うので、どういう考え方で再整理したのかご説明いただきたい。  |

|      |  |
|------|--|
| 事業者  | <p>影響を受ける施設の抽出の仕方全般についてのお尋ねかと思う。まず、28ページは、主に調査地域の範囲を設定しながら、そこにある影響を受ける施設、学校、幼稚園、福祉施設等の状況を抽出して表にまとめた内容である。</p> <p>また、29ページの図に、それぞれ色ごとに事業予定地からの距離を識別して示しているが、それに該当するものをピックアップしている。</p> <p>また、水環境等については、施設の範囲の欄に※の記入があるが、主に下流側で影響を受ける施設についての抽出を行ったということである。</p> |
| 江成会長 | <p>キーポイントになるのか、28ページですべての項目に丸印がついている施設が幾つかある（事務局注：富沢小学校、富沢幼稚園、太白すぎのこ保育園、富沢児童館、仙台富沢病院、富沢市民センター）。29ページでそれらの場所を確認すると、大体事業地から東側が主に選定されている。個別にはそのほかの施設もあるのだろうが、そのほかの丸印も含めて事業地から東側が多いというのは、施設が多いということなのか、それとも影響がそっち側にいくだろうという考え方なのか。</p>                           |
| 事業者  | <p>施設が多いという考え方で整理している。この4章については、まず最初に事業地周辺における影響を受ける施設を全部プロットし、その後に各調査項目ごとに単純に500メートル、200メートル枠をかけて整理をしているだけなので、5章、6章ではより詳細に選定の場所について表示してある。</p>  |
| 江成会長 | <p>今日のご欠席の委員の方がかなり多いが、その方々にはどのような対応をしているのか。</p>  |
| 事務局  | <p>欠席委員には資料を送付という形で対応しています。</p> <p>今回の審査会に先立って、ご欠席の委員の方からのご意見はありませんでした。</p>  |
| 安井委員 | <p>15ページで、仙台平野は数十年単位、30年で5センチ下がる。他に、短期的にも盛土などの影響で下がるということであるが、これは土地の造成の常識的なこととしてよろしいか。盛土に関しては、空隙が出るので、圧密沈下が起こって下がるのは当然であるが、この辺だけが30年で5センチなのか。それとも、以前にここは全体的に大いなる河川敷だというお話も伺ったが、その関係なのか。造成計画としてはどうなのか。</p>  |
| 事業者  | <p>仙台平野全体に関しては、方法書の88ページに全体的な沈下量がコンターで書いてあり、このようにこの地域だけが特筆して下がっているということではなく、全体的な沈降量の差はあるが、長町地域の方に沈下があるということで、大きくは沈下をしていると書いていた。ただ、もちろん造成による沈下の時間、量に比べれば微々たる量だという記載になっている。</p>  |
| 安井委員 | <p>不等沈下せず、道路からなにから、みな平均に下がれば何も問題がないのだが。</p>  |

|             |  |
|-------------|--|
| 横山委員        | <p>今回はやはり区画整理事業という性格上、どうしようもない部分もあると思うが、結局現状としては例えば猛禽類などの個体はなくなるか、あるいは極めて少なくなるということが、これはほぼ確実だということではないか。それに関しては、前回の指摘事項のご回答の中にあったと思うが、例えばそういったエサ場を創出するような努力をするとはいっても、結局それは確約はできないということではないか。</p> <p>協議をしながら対策を検討するとなっているが、対策自体にかなり不確実な部分があるので、現況としてはやはり猛禽類が減少するということを前提に調査を行っていく必要があるのではないかと思う。そのあたりは相互の項目に整合性を持たせた方がいいのではないかという印象を持った。</p>                                      |
| 事業者         | <p>猛禽類は行動圏が広い動物であり、今回のエリアはその中のエサ場の1区画ではないかと思っている。その中で、どういうふうな使われ方をするかと、そういう意味で調査をしたいと思っている。</p>  |
| 横山委員        | <p>そういう意味では、周辺の調査を広く行って、個体がこの場所を開発したときにどうするのかということも把握できれば恐らく確かに影響は多少あったかもしれないが、壊滅的ではなかったということができる。</p> <p>きちんとした調査をしていただいたほうがいい。</p>   |
| 江成会長        | <p>それでは、本日、ご欠席の委員が多数いらっしゃる。事業者の方から文書でこういう対応方針が出されているが、これだけだとなかなか伝わりにくいということもあるかもしれないので、事務局の方で確認をとっていただきたい。文書の内容を読み取っていただいてそれでOKであればそれで良いが、もし質問などがあれば、事業者の方で直接ご説明いただくなど対応願いたい。</p>  |
| 事務局（環境調整係長） | <p>我々の方でまず確認をとりたい。その中で、何かご指摘等があれば、直接事業者さんに聞いていただくかなりの対応をとらせていただきたい。</p>  |
| 江成会長        | <p>よろしく願います。</p> <p>それと、今回の方法書は、やはり事業計画があまりはっきりしない段階での方法書ということもあったので、これから事業計画が固まっていく中で、もし修正等が必要な部分が出てきたら、ぜひ適切に対応していただきたいということをお願いしておきたいと思う。</p> <p>そういったことも含めて次回、答申案の審議ということで進めさせていただきたいと思うがよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">→（各委員了承）</p> <p>それでは、その方向で進めさせていただく。</p> <p>次回、本日までの議論を踏まえ、事務局から答申案を提示していただいて審議することにしたいと思う。</p> <p style="text-align: center;">（事業者退出）</p> |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <b>【次第４ 事務連絡】</b><br>・追加意見聴取 １２月２１日午前中までに事務局まで<br>・次回審査会 １月７日（金）午後３時半予定<br>予定案件<br>富沢駅西土地区画整理事業方法書（５回目）答申案審議<br>新仙台火力発電所リプレイス計画事後調査計画書の報告<br>都市計画道路川内旗立線事後調査報告書（第２回目）の報告 |
| 事務局 | <b>【次第５ その他】</b><br>・江成会長からの提案について討議<br>（環境局次長より，年末の挨拶）  |
| 事務局 | <b>【次第６ 閉会】</b><br>《審査会終了》   |

平成 年 月 日

仙台市環境影響評価審査会会長

氏名

印

仙台市環境影響評価審査会委員

氏名

印